

バスラ日誌（6月3日）

1 MNC-I副司令官 [REDACTED] のバスラ来訪にあわせて、昨日夕、各国LOが集められて懇談の場が設けられた。[REDACTED] は、1人1人の兵士がこの作戦を支えていることを強調され、各国の部隊と同様にそれを構成する1人1人を大切にしたいとおっしゃった。また、コアリッションの協調が重要であって、何か問題があれば直接自分に電話でも、メールでもいいから連絡してくれと言われた。直接副司令官に問題点をあげていたら大変なことになるのではないかと思ったが、そのくらいの意気込みで取り組もうとされているのだと解釈した。各国LOからは現在特に問題はないという答えが多かったが、バスラパレス国連警護中隊のルーマニアLOから、早速ハンビイが8両あればありがたいという要望があった。日本隊については、特に問題はなく、サマワでは皆が、少将の訪問をお待ちしておりますと答えておいた。

2 英軍高官のバイオ(経歴表)を見ていると、階級氏名の横に3文字の意味不明な英語が記述されている。疑問に思い調べてみると、Order of the British Empire(大英帝国勲章)のランクを示す頭文字であることが分かった。受勲された人は、名前の後ろにランクの頭文字を付けることができるそうだ。さらに大英帝国勲章について詳しく調べたので、その内容を紹介したい。

大英帝国勲章は1917年にイギリス国王ジョージ5世が創設した勲章で、最も新しく、最も受勲者の多いイギリスの勲章である。創設する前の勲章は、政治家、軍人、役人などが主な対象で、通常の市民に与えられることが少なかったため、功績の対象を経済人、芸能人、スポーツ選手や社会奉仕活動等広範囲にした勲章を新たに創設したものである(ビル・ゲイツやポール・マッカートニーなども受勲)。勲章には、上位からナイト・グランドクロス(GBE)、ナイト・コマンダー(KBE)、コマンダー(CBE)、オフィサー(OBE)及びメンバー(MBE)の5つのランクがある。ナイトが付くものが、ナイト爵に相当し、Sir(サー)の敬称が付けられる。ちなみに、師団長のクーパー少将はMBEを、第20機甲旅団長の [REDACTED] はCBEを、幕僚長の [REDACTED] はOBEを受勲されている。

3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。